

令和元年度進行管理・評価シート
栃木市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和2年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物について	4
4 栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	5
5 重要伝統的建造物群保存地区との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
2 嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業	8
3 伝統的建造物公開活用事業	9
4 嘉右衛門町伝建地区修理等事業	10
5 伝統的技術継承事業	11
6 歴史的町並みに関する修景助成事業	12
7 景観形成重点地区指定に関する調査事業	13
8 祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	14
9 指定無形の民俗文化財保存事業	15
10 山車等の保存・修理補助事業	16
11 渡良瀬遊水地環境保全事業	17
12 農業体験(農業ワーキングホリデー)事業	18
13 6次産業化推進事業	19
14 情報発信事業	20
15 案内板等整備事業	21
16 歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業	22
17 歴史文化資産ネットワーク形成事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定、保存管理について	24
2 文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について	25
3 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 栃木市の歴史的風致に関する報道	27
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光客入込数の推移	28

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	29
--------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 蔵の街課と都市計画課、文化課を事務局とした庁内推進組織を設置するとともに、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。
また、必要に応じて、都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、文化財や歴史的建造物の所有者等との連絡調整を行う。

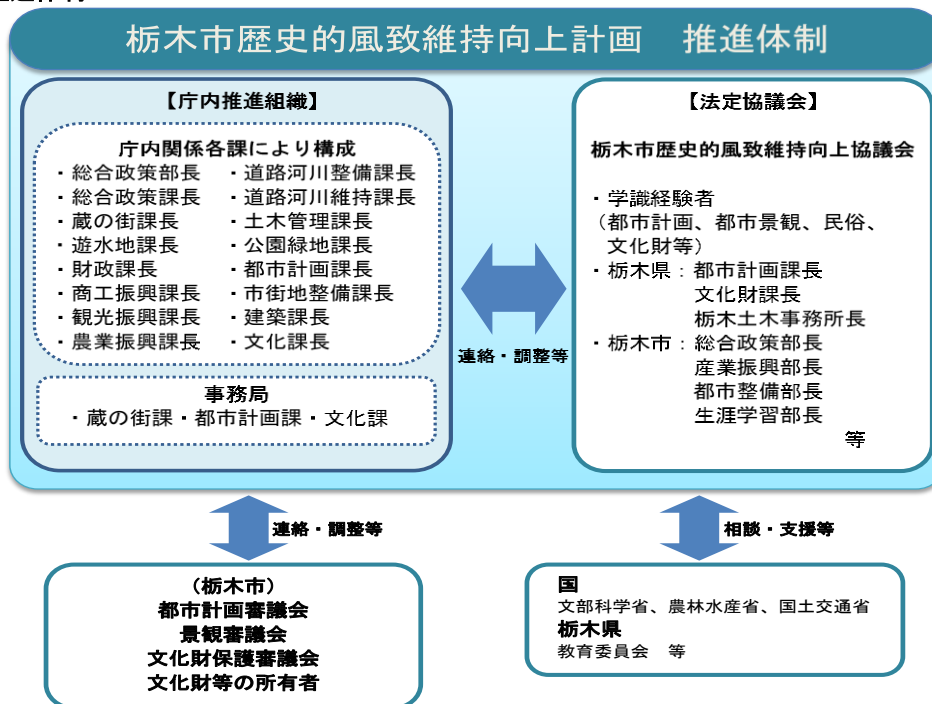
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、取り組み状況の報告及び事業の推進について協議を行うため、令和元年8月5日、令和2年3月25日に庁内推進組織である「栃木市歴史まちづくり推進会議」を開催、また令和元年8月29日に「栃木市歴史的風致維持向上協議会」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

- ① 栃木市歴史的風致維持向上協議会
- ② 栃木市歴史まちづくり推進会議

令和元年8月29日
令和元年8月5日、令和2年3月25日



栃木市歴史的風致維持向上協議会
(令和元年8月29日)



栃木市歴史まちづくり推進会議
(令和元年8月5日)

評価軸②-1

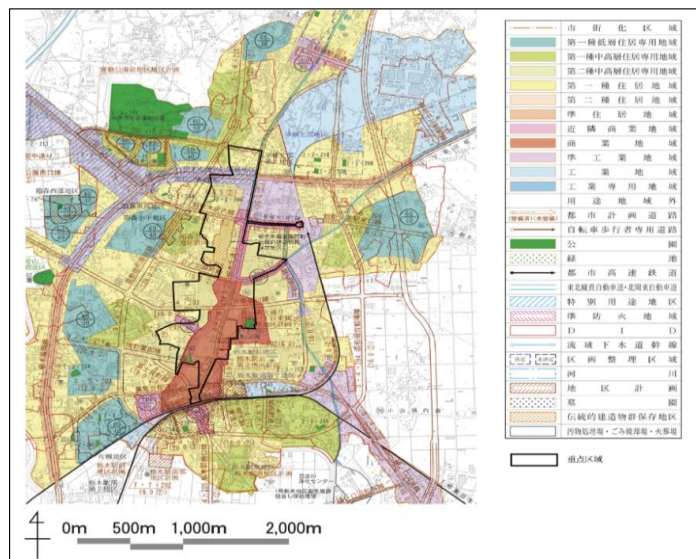
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
都市計画法との連携	☐ 実施済	
	☒ 実施中	
	☐ 未着手	

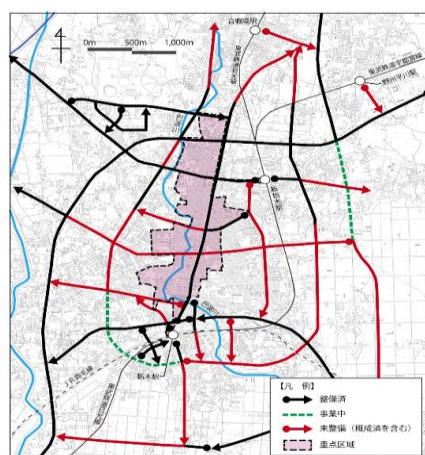
計画に記載している内容	栃木市は、市域全体が都市計画区域となっており、重点区域の2区域は、「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」が市街化区域、「村檜神社区域」が市街化調整区域である。 区域区分及び用途地域の適切な土地利用の規制誘導により周辺環境との調和に努め、特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は伝統的建造物群保存地区制度の活用を検討する。 また、地区の特性に応じた、計画的できめの細かいルールを定める制度を活用して、周辺に見られる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図る。 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地において、都市計画道路の検証・見直しを図る。
	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地における建造物群の今後の保存・活用の方法について、伝統的建造物群保存地区制度の活用や同制度活用に伴う課題(都市計画道路の見直し等)の有無等、庁内関係課との検討を行った。 また、3箇所の地区計画に、特性に応じた制限を定め、将来にわたって周辺環境と調和した快適で魅力ある歴史的景観の形成を図った。 届出実績 蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群地区計画:延べ4件(令和元年度実績無し) 栃木駅前地区計画:延べ106件(令和元年度5件) 栃木駅前第2地区計画:延べ31件(令和元年度実績無し)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

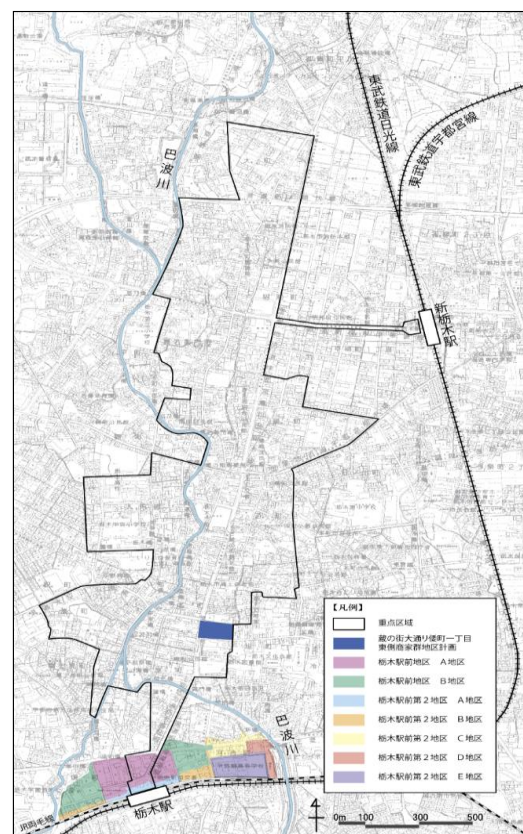
状況を示す写真や資料等



用途地域と重点区域



都市計画道路の整備状況



地区計画と重点区域

評価軸②-2

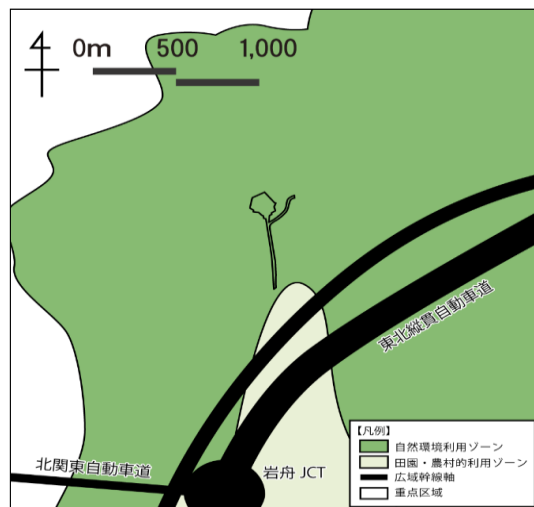
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目			現在の状況
景観計画との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	栃木市では、平成27年に景観法に基づく栃木市景観計画を策定、あわせて栃木市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。 市内各所に広がる歴史的風致について、事業展開に合わせて景観計画と連携する。 また、重点区域について景観形成重点地区として指定するための検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市景観計画」に基づき、一定の建築行為等に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。 届出件数:令和元年度87件 うち、重点区域0件 本市の歴史的風致は、市内各所に点在していることから、景観計画の景観構造別の景観形成方針による誘導をさらに推進するため、景観担当者と課題や取組等を共有した。 また、景観形成重点地区指定に向けた説明会を3回実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



景観構造図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



景観構造図(村檜神社区域)

○景観担当者と連携を協議

日時:令和元年10月2日

協議内容:

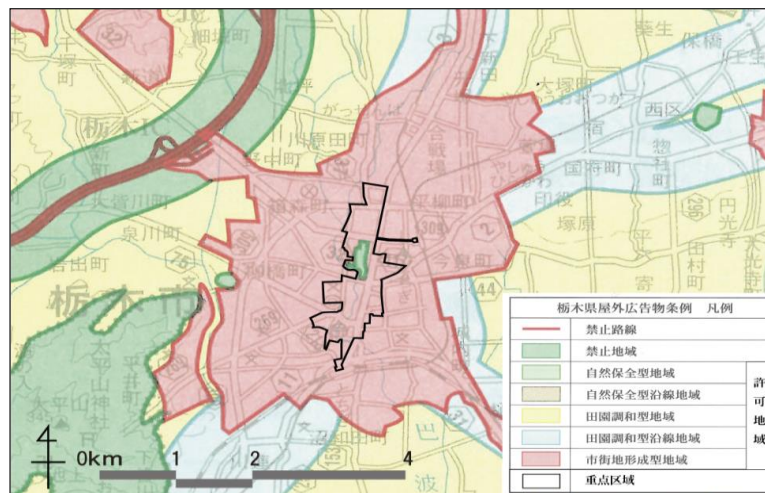
- ・歴史的風致維持向上計画と景観計画の方針と課題
- ・景観形成重点地区の指定について



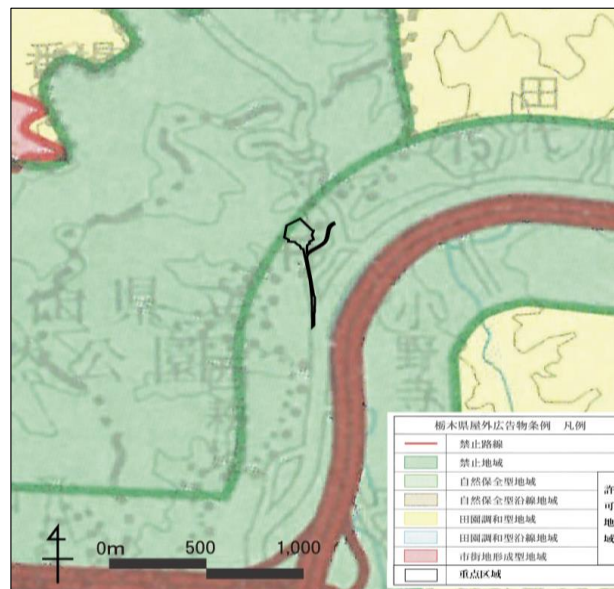
評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
屋外広告物について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	栃木市における屋外広告物は、栃木県屋外広告物条例により規制されている。 重点区域は禁止地域と許可地域が混在し規制内容が異なっているため、良好な環境が阻害されることが懸念される。 今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う条例の制定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った。(平成30年度208件、令和元年度222件) 屋外広告物の規制誘導により、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に効果があった。 栃木県主催の「令和元年度屋外広告物事例検討会」に参加し、独自条例をもつ県内他市町との意見交換を行った。(令和元年7月29日に栃木県庁大会議室にて開催:参加人数41名)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



屋外広告物規制図(村檜神社区域)

評価軸②-4

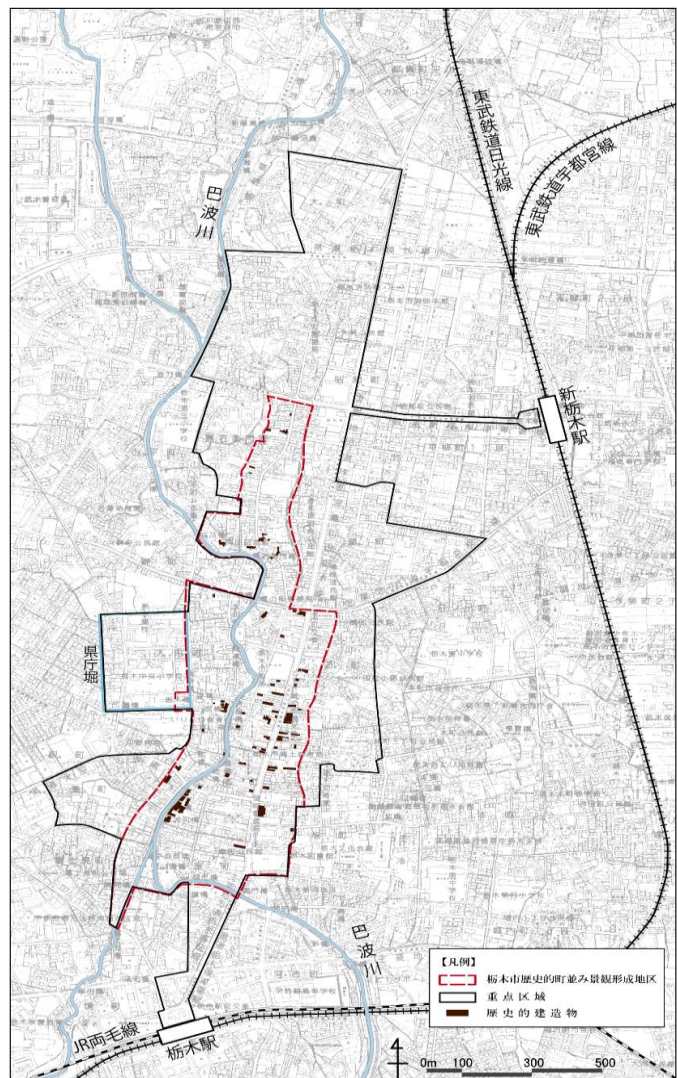
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
栃木市歴史的町並み景観形成要綱について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	栃木市では、平成2年に、栃木市歴史的町並み景観形成要綱を制定して、歴史的建造物の外観やそれらに付随する工作物の修景整備を進めている。 今後は、景観形成補助金制度の拡充を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市歴史的町並み景観形成地区内において建築行為等を行う場合、「栃木市歴史的町並み景観形成要綱」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」により、届出を受け、良好な歴史的町並みを形成するため、基準に沿うよう指導した。(平成2年度から延べ373件の届出、令和元年度届出件数:新築8件、増築2件、塗替え1件、修繕2件、改修2件) 歴史的建造物の指定及び修景内容の審議機関「栃木市町並み委員会」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○「栃木市町並み委員会」の開催

開催日 令和2年1月28日

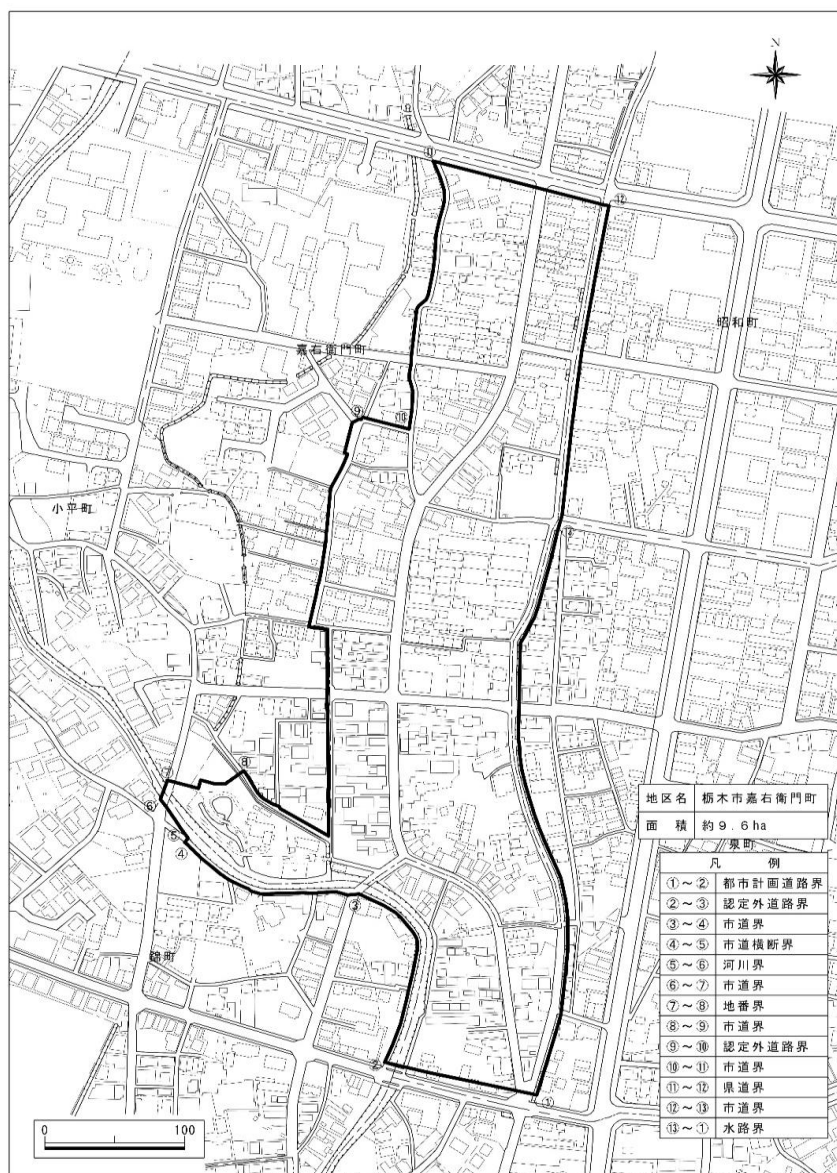
審議内容 歴史的建造物の指定
平成30年度届出件数及び内容報告

栃木市歴史的町並み景観形成地区と歴史的建造物の位置

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区(嘉右衛門町伝建地区)は、保存計画に基づいた文化財としての伝統的建造物群の保存を進めながら、伝建地区周辺環境の保全・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内における現状変更行為等について、事前協議を行い、現状変更行為許可、及び修理修景への補助をすることで、嘉右衛門町伝建地区の歴史的風致の維持向上が図られた。 許可件数:令和元年度 3件(累計40件) 修理件数:令和元年度 3件(累計31件) 修景件数:累計4件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区 9.6㏊

評価軸③-1

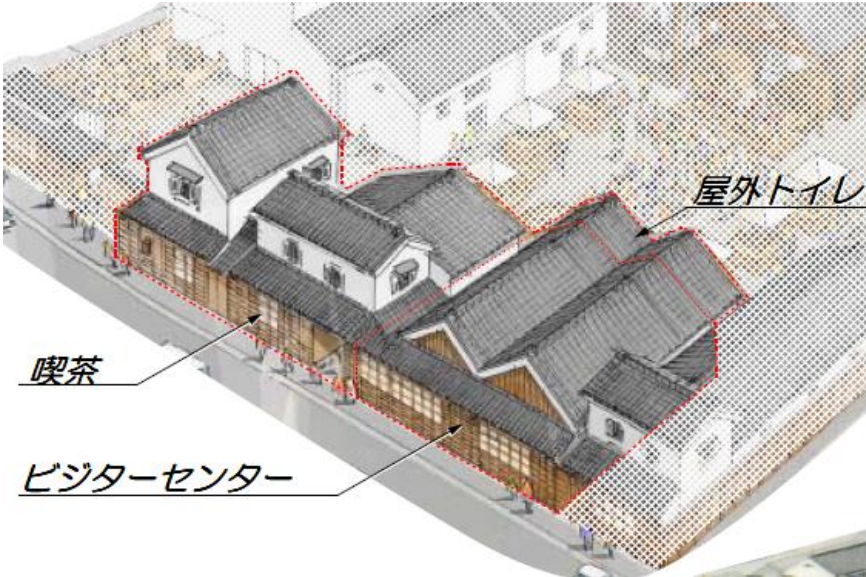
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度								
項目		現在の状況									
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手									
事業期間	令和元年度～令和10年度										
支援事業名	市単独事業										
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定する。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律施行細則を制定し、市所有の歴史的建造物14棟を歴史的風致形成建造物に指定した。 また、来年度策定予定の補助金交付要綱について検討を行い素案を作成した。											
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない											
状況を示す写真や資料等											
歴史的風致形成建造物指定一覧											
指定番号	名称	所在地	建築年代	規模構造	指定等区分	指定番号	名称	所在地	建築年代	規模構造	指定等区分
1	横山郷土館店舗及び住居	栃木市入舟町18番地24 20番地2	明治後期建築	木造瓦葺平屋建	登録有形文化財	8	とちぎ蔵の街観光館南蔵2(荷蔵2)	栃木市万町340番地1	明治32年(1899)建築	木造瓦葺2階建	
2	横山郷土館麻蔵	栃木市入舟町20番地2	明治42年(1909)建築	石造瓦葺2階建	登録有形文化財	9	蔵の資料館「古久磯提灯店見世蔵」とちぎ歌麿館【古久磯提灯店見世蔵】	栃木市万町435番地2	弘化2年(1845)建築	木造瓦葺2階建	県指定文化財
3	横山郷土館文庫蔵	栃木市入舟町18番地24	明治43年(1910)建築	石造瓦葺2階建	登録有形文化財	10	日光珈琲蔵ノ街【綿忠はきもの店店舗】	栃木市万町340番地7	安政3年(1856)建築	木造瓦葺2階建	登録有形文化財
4	横山郷土館離れ	栃木市入舟町20番地2	大正7年(1918)建築	木造鉄板葺平屋建	登録有形文化財	11	北蔵カフェひがの【佐藤家住宅店舗】	栃木市万町337番地1	明治中期建築	木造瓦葺2階建	登録有形文化財
5	とちぎ蔵の街観光館観光物産館【旧田村家見世蔵】	栃木市万町340番地8	明治38年(1905)建築	木造瓦葺2階建	市指定文化財	12	郷土参考館居宅	栃木市倭町355番地3	明治初期建築	木造瓦葺平屋建	
6	とちぎ蔵の街観光館蔵資料館(文庫蔵)	栃木市万町340番地1	慶応4年(1868)建築	木造瓦葺2階建		13	郷土参考館土蔵	栃木市倭町355番地3	弘化3年(1846)建築	木造瓦葺2階建	
7	とちぎ蔵の街観光館南蔵1(荷蔵1)	栃木市万町340番地1	明治28年(1895)建築	木造瓦葺2階建		14	旧栃木町役場庁舎	栃木市入舟町2番地2	大正10年(1921)建築	木造瓦葺2階建	市指定文化財

栃木市-7

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	文化財建造物等活用地域活性化事業補助金 市単独事業		
計画に記載している内容	味噌工場跡地の敷地内に数多く残る伝統的建造物の保存に努めるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった町並みの整備や人と文化の交流を目的とした活用を目指し、観光・まちづくり・防災の拠点施設として整備する。(伝統的建造物の修理・景観阻害建築物の撤去解体・煙突や窯の整備・中庭の整備等)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区の拠点施設として整備するため、例幣使通り沿い建築物修理工事、例幣使通り沿い建築物内装修理工事、例幣使通り沿い建築物機械設備設置工事、例幣使通り沿い建築物電気設備設置工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○嘉右衛門町伝建地区拠点施設			
			
今年度事業実施箇所			
			
事業実施後			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統的建造物公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値について理解を深めるため、当地区で最も古い(天保年間)見世蔵、土蔵群(伝統的建造物)及び土地の取得を目指し、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、市が借り上げていることから、イベント時の会場貸出しや、オープンハウス、珈琲の淹れ方講座、音楽イベント(うたの在りか)、カエモン朝ヨガ会等を実施した。 また、見世蔵等の取得に向け、所有者との話し合いを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	見世蔵の取得を目指すとともに、その保存・活用計画を検討する。		

状況を示す写真や資料等



オープンハウス
(令和元年8月12日)



珈琲の淹れ方講座
(令和元年8月28日、12月26日)



音楽イベント(うたの在りか)
(令和元年11月24日)



カエモン朝ヨガ会
(令和元年7月10日、7月31日)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区修理等事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成24年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業費補助金 市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及び伝統的建造物以外の建築物等の修景を実施する所有者に対し、修理・修景に係る経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物3件の修理に対し、助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		修理工事前に計画変更等が行われ、着手できない工事が発生した。補助事業にあたり、所有者の意向確認や、詳細な修理設計が必要である。	
状況を示す写真や資料等			
岡田家 主屋  修理前  修理中 岡田家 土蔵  修理前  修理中 岡田家 門  修理前  修理後			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
伝統的技術継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	歴史的町並みの保全・活用に必要な歴史的建造物の伝統的技術の継承事業を促進する団体等の支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統的技術の継承事業の促進のため、建造物の修理技術の研鑽と担い手育成及び歴史的伝統建築の修理や町並み保存に対する啓発活動を進めている「特定非営利活動法人とちぎ蔵の街職人塾」に対し、伝統的技術の継承事業に要する経費の助成を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	補助金等に頼らず、特定非営利活動法人とちぎ蔵の街職人塾の財源で活動できるよう支援を行うとともに歴史的風致維持向上支援法人への指定を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
栃木県栃木市周辺の 土塗壁の施工と構造性能の手引き (案) 特定非営利活動法人とちぎ蔵の街職人塾 国土館大学理工学部横内基研究室 今年度とちぎ蔵の街職人塾が作成したマニュアル		

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
歴史的町並みに関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、景観形成補助金制度を拡充し、歴史的建造物の外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、歴史的町並みに調和するよう修景を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用し、栃木らしい歴史的町並み景観を形成するため、歴史的建造物等の修景に対して、費用の一部を補助した。平成2年度から延べ125件補助(歴史的建造物100件、非歴史的建造物18件、重要工作物7件) 町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、修景整備が進むよう景観形成補助制度の拡充を検討した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用した修景整備 ・歴史的建造物(あだち好古館)屋根瓦及び樋保全工事			
 樋及び受け金具 修理保全			
 瓦破損部の修理保全		修景後	
修景前			
・平成30年度 修景5件 八百熊商店			
			
修景前		修景後	

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
景観形成重点地区指定に関する調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、歴史的町並みの更なる充実を図り、景観まちづくりを推進するため、本地区を基本に栃木市景観条例に基づく景観形成重点地区の指定に向けた調査(景観の特徴等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成2年制定の栃木市歴史的町並み景観形成地区を、栃木市景観計画に基づく栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区へとするため、地区内の自治会長及び商店会長への説明会及び地元説明会を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区の指定
へ向けた自治会長及び商店会長への説明会

日時: 令和元年6月5日

場所: 本庁舎 正庁



栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区の指定へ向けた地元説明会

日時: 令和元年9月3・5・9日(3日間)

場所: 本庁舎 正庁

人数: 45人

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
祭礼・民俗芸能等の記録保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の無形の民俗文化財に指定されている祭礼や民俗芸能等について、調査し記録を作成するとともに、作成した記録を保存する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「大神神社の神楽」について、事前調査、現地確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



大神神社祭礼(京都吉田流太々神楽)
平成31年4月14日

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
指定無形の民俗文化財保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定無形の民俗文化財の保存や伝承活動の促進のために、保存団体等に対し、伝承活動に要する経費や保存に必要な専門用具、楽器、衣装等の修理又は新調に要する経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市指定無形民俗文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定無形の民俗文化財の伝承活動に要する経費の一部を支援した。(8団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○栃木市指定無形民俗文化財伝承補助金

交付先

- ・大宮神社獅子舞保存会
- ・富田節保存会
- ・横堀神楽保存会
- ・新神田囃子保存会
- ・関白流獅子舞保存会
- ・升塚文挟小流獅子舞保存会
- ・依田流鷲宮太々神楽保存会
- ・大沢田太々神楽保存会



横堀神楽保存会



関白流獅子舞保存会



升塚文挟小流獅子舞保存会



依田流鷲宮太々神楽保存会



大沢田太々神楽保存会

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
山車等の保存・修理補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	栃木の山車祭りの山車等の保存や伝承活動の促進のために、保存会等に対し、保存会の運営に要する経費や山車の修理に係る経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市山車保存会補助金交付要綱に基づき、保存会の運営に要する経費の一部を支援した。(1団体)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○栃木市文化財山車保存会補助金 交付先 ・文化財山車保存会			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
渡良瀬遊水地環境保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	渡良瀬遊水地の環境保全として、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査や希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種を復活させるための環境学習池の管理を行う。また、ヨシ原保全のためクリーン作戦やヨシ焼きを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成31年4月13日に渡良瀬遊水地クリーン作戦を実施し、一般ゴミ、粗大ゴミ、産廃ゴミなど2.4tを収集した。(参加者630人)令和元年5月18日に外来植物等除去活動を実施し、セイタカアワダチソウやヤナギなど650kgを除草した。(参加者200人)令和元年6月13日及び令和元年10月9日に絶滅危惧種生息地(市占有地)の除草作業を実施し、令和元年6月22日には観察会を開催した。令和元年6月26日にノジトラノオ(絶滅危惧種)生息地の保全作業を実施した。 令和2年3月21日に渡良瀬遊水地のヨシ焼きを実施した。(1,000ha/1,500ha:遊水地全体約7割を焼却)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 渡良瀬遊水地クリーン作戦の様子 (平成31年4月13日)  外来植物等除去活動の様子 (令和元年5月18日)  絶滅危惧種生息地除草後の観察会の様子 (令和元年6月22日)  ノジトラノオ保全作業の様子 (令和元年6月26日)  ヨシ焼きの様子(令和2年3月21日)		

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目			現在の状況
農業体験（農業ワーキングホリデー）事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを一般消費者にアピールし、地域農業の振興に寄与するよう、ぶどう収穫等の体験学習を行う。また、ぶどう農家に農作業を手伝いたいなど、ぶどう栽培に関心があり勉強をしたい人を紹介して、ぶどう農家の人手不足を解消していくサービスを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
大平ぶどう団地を一般消費者へアピールするため、ぶどうまじりの開催、ぶどう狩りキャンペーン及び横断幕設置を実施した。（1）ぶどうまつり来場者数4,000名（2）ぶどう狩りキャンペーン 2回実施（3）横断幕設置 3ヶ月 ぶどう農家への人材紹介について、支援方法についての検討を行った。また、令和3年度から予定しているぶどう収穫等の体験学習についても併せて検討した。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		農業体験については受け入れできる農家や組織の確保が課題である。また、現状では人手・後継者ともに足りている状態であり、新規就農希望者の土地や施設等の経営基盤整備にも課題があるため、今後の取組みについて地元農家の意見を伺いながら支援方法を検討していく。	

(1)ぶどうまじりの開催



2019 ぶどうまつり
会場：かかし山
入場無料
ステージショー
特産品販売・出店
その他、楽しいイベントが満載!!
どちけんも来るよ!!
12:15～12:45
会場：かかし山
〒370-0001 栃木県栃木市かかし山1771-1
TEL: 0282-43-8288

ぶどうまつり会場案内図
会場①：メイン会場
会場②：お祭り広場
会場③：お祭り広場
会場④：お祭り広場

ぶどうまつり実行委員会 TEL: 0282-43-8288 (市西/市東/市南)

主催：おおひらぶどうまつり実行委員会 (構成団体：大平町観光ぶどう園協議会 NPO法人大平山麓観光協会 他)
後援：栃木市 栃木市観光協会
協賛：おおひら歴史館資料館 フォレストアドベンチャーおおひら もくせい山 西山田を明るくする会

2019ぶどうまつりチラシ

(2)ぶどう狩りキャンペーン

実施日	場所
6月16日	あじさい坂休憩案内所前 (あじさいまつり開催中)
6月29日 30日	JR両毛線 特別列車内 (ぐんま×とちぎまんぷくグルメ列車)

(3)横断幕設置

期間 7月～9月
場所 東武鉄道 浅草・北千住駅構内



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
6次産業化推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを主力とする果樹生産の振興を図るとともに、大平ぶどう団地では、来訪者の志向や栽培動向に対応した、ワインやジュース、ジャム等の加工・販売・新商品開発等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、ぶどうジュース、ジャム、ワイン等の加工品を各団体が中心に製造・販売を行っており、それらをブランド品(とちぎ小江戸ブランド)として認定し、販売促進のためのPRを行った。また、今後の生産・販路拡大へ向け検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新商品開発に関する相談が定期的に得られることが少ない点が課題であるが、相談を受けた際には、県が設置する栃木6次産業化サポートセンター等の関係組織と連携し、支援を行う。		
状況を示す写真や資料等			

○現在生産されている加工品の例



ぶどうジュース



手づくり巨峰ジャム

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
情報発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値や、伝建地区や伝統的建造物等を楽しめる魅力や情報を発信するなど、様々な情報発信ツールを活用したPRを展開する。栃木市の認知度を高め、魅力を知ってもらうため、メディアや交通事業者、旅行業者等へ、時期にあった情報発信を行い、栃木市への誘客に努める。また、栃木市を訪れる外国人観光客の誘客推進を図るため、商談会や県主催の海外プロモーションイベントに参加し、積極的な誘客活動を展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区では魅力や情報発信のため、地域おこし協力隊によりマップや冊子を作成した。 外国人観光客の誘客促進のため、誘客活動を実施した。(タイ国際旅行博での観光PR、セールスコール1回、都内での旅行事業者に対する商談会の開催1回、観光キャラバン 2回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○嘉右衛門町伝建地区の魅力を紹介するマップ及び冊子			
			
マップ		冊子	
○外国人観光客の誘客活動			
			
タイ国際旅行博での観光PRの様子		県観光情報説明会の交流会の様子	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目			現在の状況
案内板等整備事業			■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	令和元年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の説明や、伝建地区及びその周辺地域の防災施設等の施設に関する適切で分かりやすい情報の提供を行う地図、また、災害時に情報伝達・共有をするための掲示板(でんけん伝言板)を設置する。また、伝建地区の南隅と北隅に位置サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設前に、案内板(でんけん伝言板)を設置した。また、伝建地区の南隅と北隅の位置サインについては、既存の位置サインを活用することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○案内板(でんけん伝言板)



○伝建地区の南隅と北隅の位置サイン



位置サイン(南隅)



位置サイン(北隅)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の歴史文化資産に関する解説ボランティア養成講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光ボランティア協会において、先進地視察研修2回のほか、随時班別研修会・全体研修会を行った。 現在市で調査中の西方城跡、二条城跡について、見学者に対して解説できるように、発掘調査従事者を対象とした講座を3回実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	他部局、県、大学との連携について体制、システムづくりを検討する。		

状況を示す写真や資料等



栃木県郷土ボランティアの集い(矢板市)

西方城跡、二条城跡現地解説講座
(令和元年9月6日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の調査、指定、保存管理について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	関係法令に基づく適切な保存管理を実施し、保存活用計画の策定や、関係機関と連携した調査・研究、市指定や国登録制度等の活用等により適切な保護を行う。 土木工事等の際の届出義務の徹底や関係機関と連携した保存・記録・調査を行う。 文化財の保存活用の視点から観光部局との連携強化体制の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の調査を実施した。(建造物調査1回、彫刻調査1回、天然記念物1回) 埋蔵文化財調査を実施した。(本調査1回、確認調査12回、立会調査24回、研究団体学術調査2回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定の根拠となる、現存する証拠の収集において、事務局と審議委員だけでは困難な場合があったことから、研究機関との連携体制を整えていく必要がある。	

状況を示す写真や資料等

○文化財調査



建造物調査(平成31年4月8日)
市指定文化財(建造物)大中寺山門



彫刻調査(令和元年6月17日)
未指定文化財

○埋蔵文化財調査



確認調査(令和2年1月4日)



研究団体(栃木県古墳勉強会)学術調査
(令和元年7月30日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の価値を損なうことなく修理するため関係機関と調整し、各種補助制度を活用しながら、適切な保存のための対策を講じる。 展示施設等の見直しを行い、将来的に資料を一元管理できる施設整備を目指す。 関係法令に基づき周辺環境と調和した良好な景観の保全に努める。 防災対策の検討とともに、復旧作業に資する資料や関係機関との体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定文化財(建造物)神明宮拝殿(旧神道中教院講堂)の修理が行われ、事業費の支援を実施した。修理にあたり、市文化財保護審議会委員の調査指導を2回実施した。(平成31年4月8日、令和元年11月12日) また、市指定文化財(有形の民俗文化財)大町の山車(弁慶)の修理にあたり、市文化財保護審議会を開催し、修理内容を審議した。(平成31年4月22日)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○市指定文化財(建造物)神明宮拝殿(旧神道中教院講堂)修理



神明宮拝殿【修理前】



神明宮拝殿屋根等修理【修理中】

○市指定文化財(有形の民俗文化財)大町の山車(弁慶)修理



現在修理中の大町の山車

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目	現在の状況	
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財防火デーを活用した防災訓練等の取組みを促す。 説明板等の設置やパンフレットなどの作成・配布、講座やイベントを開催し、普及・啓発を図る。 総合的な調査研究を行うとともに、保存・活用する団体等の育成、団体間の連携強化を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財防火デー(1月26日)にあわせて、有形文化財(建造物)の所有者または管理者に対して、通知とポスターを配布し、文化財の防災意識の啓発を行うとともに、市指定文化財(建造物)の消防点検を消防と連携し実施した。 文化財防火デーに嘉右衛門町伝建地区で防災訓練を実施した。(参加者約100人) 文化財の歴史的価値と保存の重要性の普及・啓発を図るため、とちぎ文化講座を開催した。(開催数3回 令和元年9月5日52人、令和元年9月12日48人、令和元年9月19日54人)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○市指定文化財(建造物)の消防点検 ・華厳寺観音堂の消火設備点検(令和2年1月27日) ・愛宕神社の消火設備点検(令和2年1月30日)		
○文化財防火デー防災訓練		
		
文化財防火デー防災訓練状況 嘉右衛門町伝建地区(令和2年1月26日)		
○とちぎ文化講座 ・栃木市の仏像たち(令和元年9月5日) ・例幣使街道の道しるべ(令和元年9月12日) ・とちぎの古墳を学ぶ(令和元年9月19日)		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
歴史でまちづくりPR 町並み保存計画国が認定	平成31年4月10日	毎日新聞	
「歴史的風致」カードに	平成31年4月21日	下野新聞	
日差しに備え 栃木・よしず作り	令和元年5月10日	下野新聞	
渡良瀬遊水地保全理解を 観察会や除草参加募る	令和元年5月10日	下野新聞	
ヨシ焼き存続危機 担い手不足を懸念 体験ツアー検討も	令和元年6月7日	下野新聞	
夏へ よしず作り最盛期	令和元年6月7日	読売新聞	
よしず出荷ピーク	令和元年6月14日	東京新聞	
光と波に祈り寄せ 巴波川で百八灯流し	令和元年8月5日	下野新聞	
ヨシ焼き「担い手」募集	令和元年9月26日	下野新聞	
ヨシ焼き従事者募集せず 火入れ体験ツアーは実施	令和元年11月28日	下野新聞	
「くるめ様」役親族3代 栃木の大神神社 秋季例大祭「御鉾祭」	令和元年12月10日	下野新聞	
伝統と「らしさ」を表現 村檜神社	令和元年12月12日	下野新聞	
住民が消火など体験 栃木重伝建地区で訓練	令和2年1月27日	下野新聞	
調べて遊べる「蔵ナビ！」公開	令和2年3月18日	下野新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目	評価対象年度	令和元年度
----	--------	-------

観光客入込数の推移

計画に記載している内容
歴史や伝統が広く市民に再認識され、郷土に対する誇りと愛着が生まれることにより、祭礼行事など、地域行事への積極的な参加につながり、地域の伝統文化が次世代へ大切に受け継がれていく。また、栃木市固有の魅力が向上することにより、観光振興等を目的とした交流人口の増加へとつながり、地域活性化が図られる。

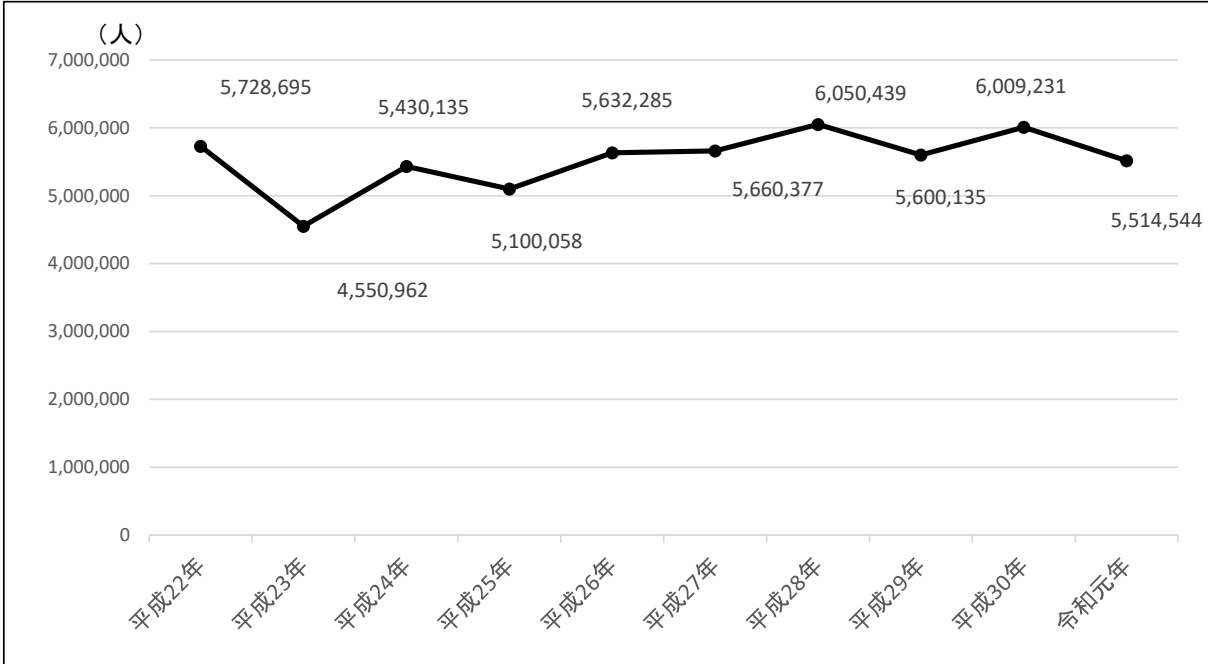
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民協働によるおもてなしの推進や、観光資源の磨き上げなどにより、リピーターや新たな観光客の獲得に繋がっており、観光客入込数は全体的に横ばい傾向にある。
平成28年度には初めて6,000千人を超え、平成30年度にも6,000千人を超えている。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



栃木市観光客入込数の推移

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 栃木市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 文書による意見聴取(令和2年4月)	
(コメントの概要)	
①組織体制 ・庁内推進組織事務局を中心に、このまま進めていただきたい。 ②重点区域における良好な景観を形成する施策 ・栃木地域の中心市街地は建造物等の更新が続いており、歴まち計画実現上、手遅れになりつつある。今後、どのように取り組むか。 ・県の屋外広告物条例だけでは、きめ細かさに欠けるおそれがあるので、早急に市条例を制定し、歴まち計画に対応する規制、誘導を実施してほしい。 ・「歴史的町並み景観形成要綱」における「歴史的建造物」と「歴まち計画」における「歴史的風致形成建造物」との整理及び連携を図る必要がある。 ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 【嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業】 ・今後も多額の整備費が必要となることから市の財政状況を踏まえた整備手法、整備スケジュールを検討すべきではないか。 【伝統的建造物公開活用事業】 ・地元で活用されていることはたいへん素晴らしいことと思う。 【歴史的町並みに関する修景助成事業】 ・街並みを見ていると、屋根や壁など傷んでいるところが散見される。住民の協力が不可欠だが、より良い歴史的町並みとしていくためにも、粘り強く働きかけていくべき。 【祭礼・民俗芸能等の記録保存事業】 ・記録可能なものはできるだけ記録するとともに、保存と閲覧をより確実なものとする記録形式や媒体などを検討されたい。 【山車等の保存・修理補助事業】 ・山車の修理に関しては現状を損なわない方針をとることが重要である。 【歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業】 ・他自治体でも解説ボランティアが好評となっているところがある。シルバー人材の登用とも連携させ、「歴史の語り部」を充実させるべき。 ④文化財の保存又は活用に関する事項 ・市文化財を上級(県レベル)にランクアップする働きかけを継続する。 ⑤効果・影響等に関する報道 ・観光客誘致や住民の意識向上に向け、積極的な発信を継続的にしていく必要がある。 ⑥その他(効果等) ・災害の復旧・復興、新型コロナウイルスの収束に合わせて、観光客の誘致、街中の活性化に努める必要がある。 ○全体に関すること 駅から見どころまでの距離があるため、コンパクトシティ施策と連携させつつ、公共交通による誘導施策等も検討すべき。 無電柱化について早期完了に向けて工法等も含め検討していくべき。 関係部局、市民との連携をさらに強め、より積極的に歴まち事業を進めてほしい。	
(今後の対応方針)	
本計画や、各事業の積極的な情報発信により、歴史的風致保全の意義を周知し、住民の意識向上を図る。 関係部署との情報共有を図るとともに、関係団体・住民との連携強化により、各事業の取組みを推進する。	